

地域のお客さまとともに

～平成25年度決算ハイライト～

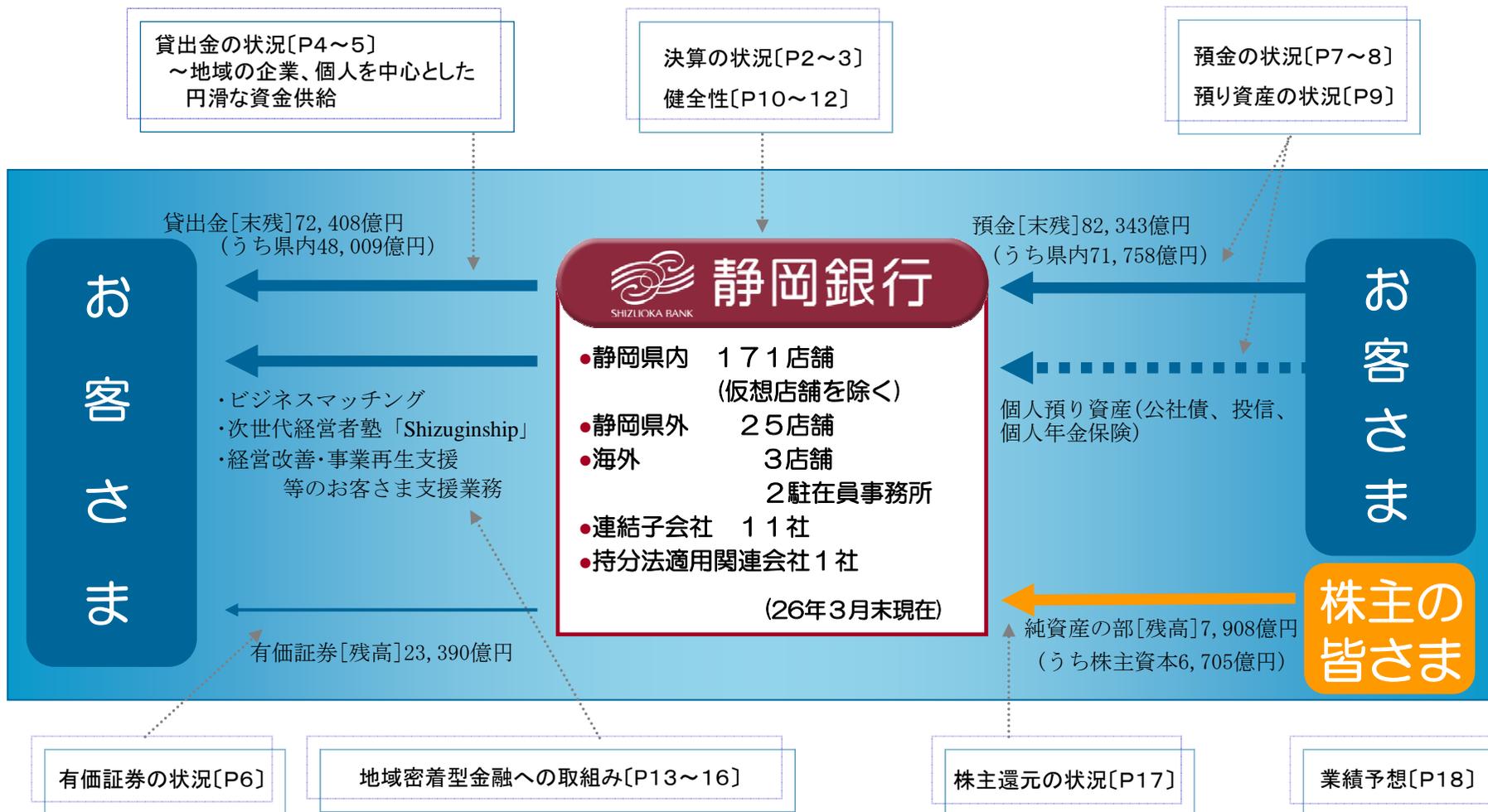


静岡銀行

SHIZUOKA BANK

地域のお客さまとともに

- 静岡銀行では、株主の皆さまからご出資いただいた資金、お客さまからお預りした資金をもとに、静岡県を中心としたお客さまへご融資を行い、暮らしや事業の夢の実現のお手伝いをするとともに、地域密着型金融への取組みなどを通じて地域経済の持続的な発展に貢献することを経営の基本姿勢としています。



※本資料の金額等は原則として単位未満を四捨五入しています。
また、本資料における予想値については、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想値と異なる結果となる可能性があります。

決算の状況(連結)

(億円、%)

《連結決算の状況》	25年度	前期比	
		増減額	増減率
連結経常収益	2,209	+177	+8.7
連結経常費用(△)	1,462	+143	+10.9
連結経常利益	747	+34	+4.8
連結当期純利益 (負ののれん発生益除き)	467 (467)	△102 (+27)	△18.0 (+6.0)

連結経常収益 前期比+177億円増収(6期振り)

連結経常費用 前期比+143億円増加

連結経常利益 前期比+34億円増益(5期連続) [過去最高益]

連結当期純利益 前期比△102億円減益(5期振り)
(負ののれん発生益除き) (前期比+27億円増益)

《連結子会社(11社)》

静銀経営コンサルティング(株)
 静銀リース(株)
 静岡コンピューターサービス(株)
 静銀信用保証(株)
 静銀ティーシーカート(株)
 静岡キャピタル(株)
 静銀ティーエム証券(株)
 静銀総合サービス(株)
 静銀モーゲージサービス(株)
 静銀ビジネスクリエイト(株)
 欧州静岡銀行

《持分法適用関連会社》

静銀セゾンカード(株)

- 連結経常収益は、資金運用収益(+58億円)および国債等債券売却益(+65億円)の増加を主因に前期比+177億円の2,209億円となりました。
- 連結経常費用は、国債等債券売却損の増加(+143億円)を主因に前期比+143億円の1,462億円となりました。
- この結果、連結経常利益は、前期比+34億円の747億円、また、連結当期純利益は負ののれん発生益がなくなったこと(△129億円)を主因に前期比△102億円の467億円となりました。

決算の状況(単体)

(億円、%)

《静岡銀行単体の状況》	25年度	前期比	
		増減額	増減率
経常収益	1,861	+151	+8.8
業務粗利益	1,445	△18	△1.2
資金利益	1,262	+59	+4.9
役務取引等利益	148	△1	△0.8
特定取引利益	5	△5	△48.9
その他業務利益	29	△71	△70.8
(うち国債等債券関係損益)	19	△78	△80.1
経費 (△)	797	+11	+1.4
基礎的業務純益※1	628	+50	+8.6
実質業務純益※2	647	△28	△4.2
一般貸倒引当金繰入額 (△)	—	—	—
業務純益	647	△28	△4.2
臨時損益	25	+49	+204.3
うち不良債権処理額 (△)	10	+5	+90.4
うち貸倒引当金戻入益	5	+1	+25.9
うち株式等関係損益	28	+34	+562.2
経常利益	672	+20	+3.1
特別損益	△8	△5	△125.3
税引前当期純利益	664	+16	+2.4
法人税等合計 (△)	236	△3	△1.2
当期純利益	428	+19	+4.6

※1 基礎的業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益

※2 実質業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額

経常収益 前期比+151億円増収(6期振り)

- 経常収益は、資金運用収益(+57億円)および国債等債券売却益(+65億円)の増加を主因に、前期比+151億円の1,861億円となりました。

業務粗利益 前期比△18億円減益(4期連続)

- 業務粗利益は、投資信託収益の増加を主因に資金利益が増加(+59億円)したものの、国債等債券売却損の増加によるその他業務利益減少(△71億円)などから、前期比△18億円の1,445億円となりました。

業務純益 前期比△28億円減益(2期振り)

- 業務純益は、業務粗利益の減少に加えて経費が増加(+11億円)したことから、前期比△28億円の647億円となりました。

経常利益 前期比+20億円増益(5期連続) [過去最高益]

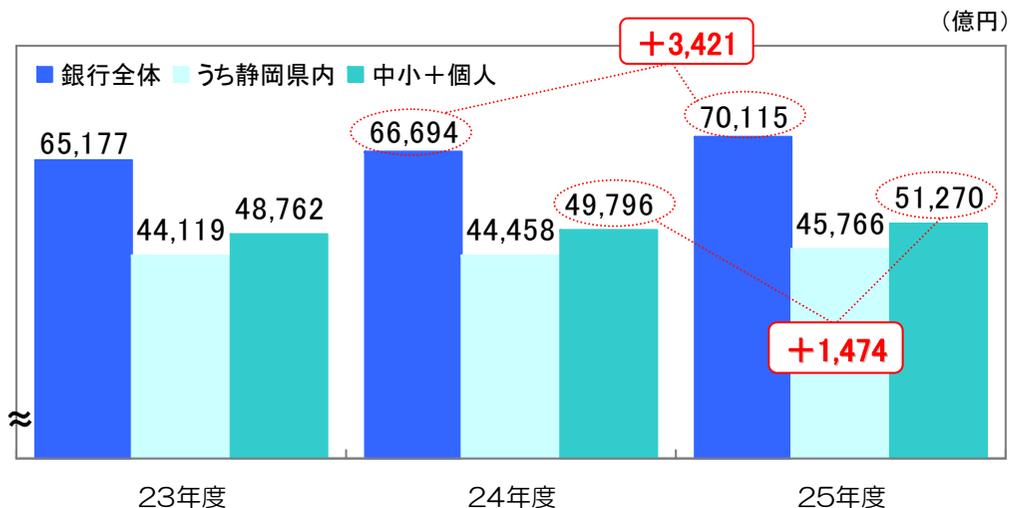
- 経常利益は、株式等関係損益の改善(+34億円)を主因に、前期比+20億円の672億円となりました。

当期純利益 前期比+19億円増益(2期連続) [過去最高益]

- 当期純利益は、特別損益の悪化(△5億円)があったものの、法人税等合計の減少もあり、前期比+19億円の428億円となりました。

貸出金の状況①

貸出金残高(平残)の推移



●25年度の貸出金残高(平残)は、70,115億円と前期比+3,421億円(年率+5.1%)の増加となりました。

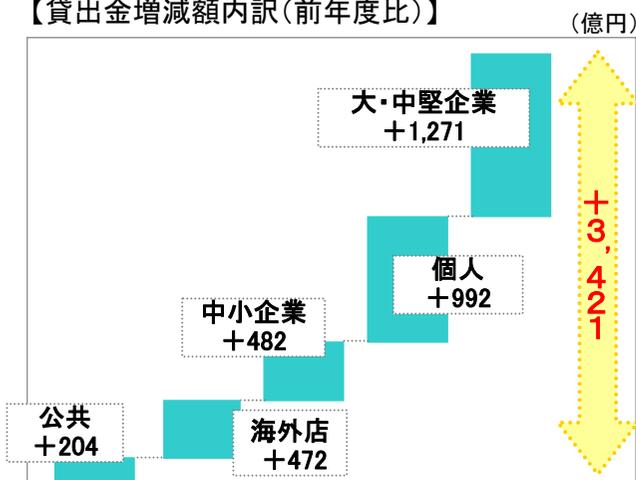
貸出金残高(平残)増加の主な内訳は以下のとおり

- ・大・中堅企業向け +1,271億円 (年率+9.5%)
- ・個人向け +992億円 (年率+4.3%)
- ・中小企業向け +482億円 (年率+1.8%)

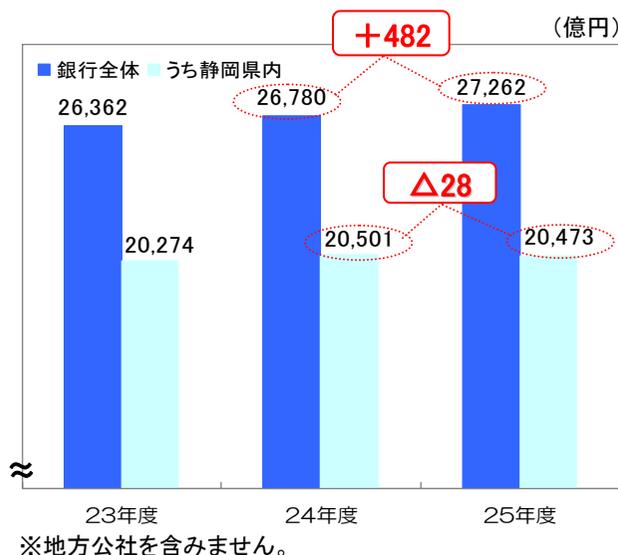
なお、中小企業向けに個人向けを加えた増加額は+1,474億円(年率+3.0%)となりました。

企業規模別 貸出金残高(平残)の増減

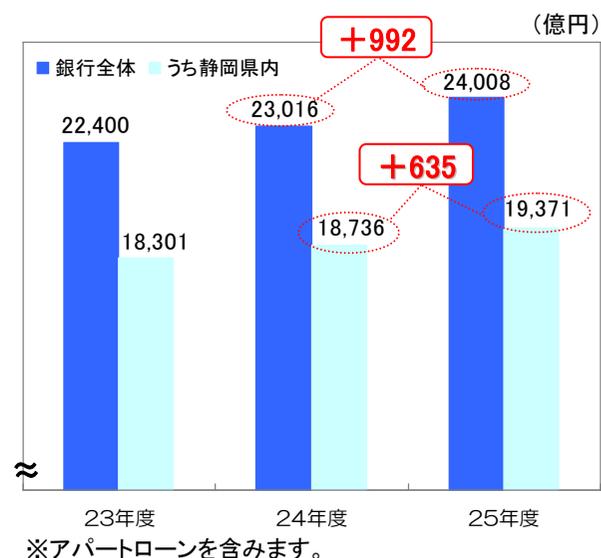
【貸出金増減額内訳(前年度比)】



うち中小企業向け貸出金残高(平残)の推移

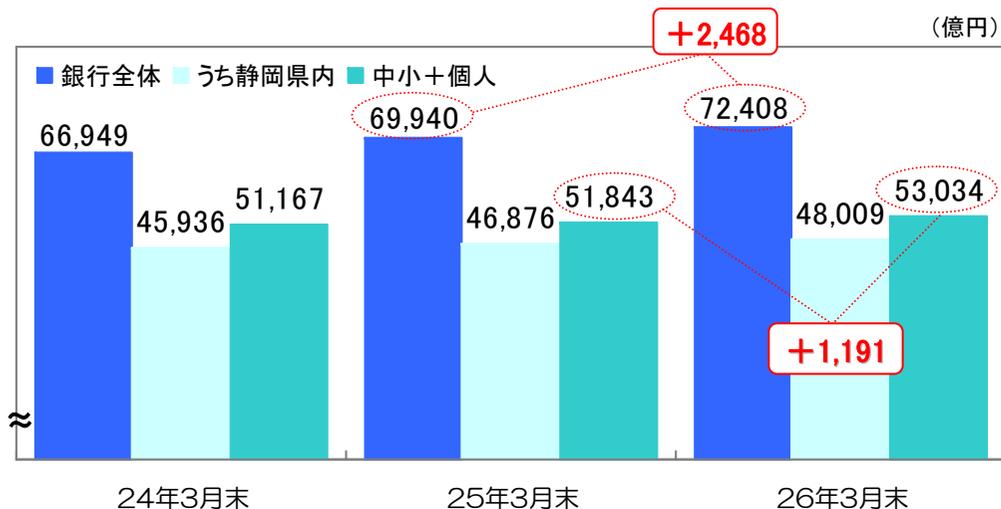


うち個人向け貸出金残高(平残)の推移



貸出金の状況②

貸出金残高(末残)の推移



●26年3月末の貸出金残高(末残)は、72,408億円と前期末比+2,468億円(年率+3.5%)の増加となりました。

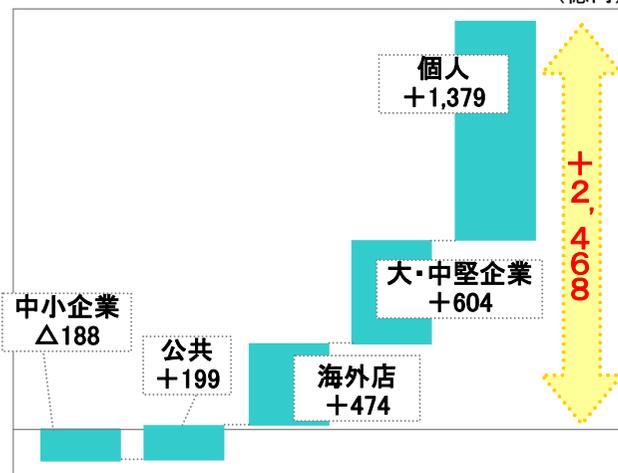
貸出金残高(末残)増加の主な内訳は以下のとおり

- ・個人向け +1,379億円 (年率 +5.9%)
- ・大・中堅企業向け +604億円 (年率 +4.3%)
- ・海外店 +474億円 (年率+28.1%)

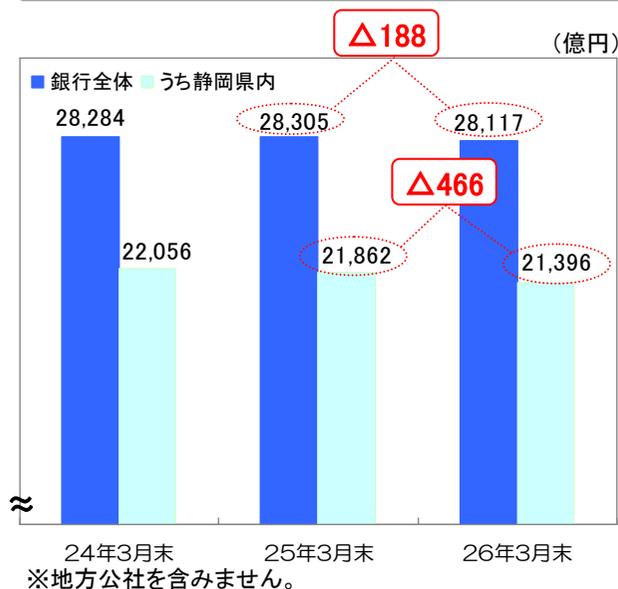
なお、中小企業向けに個人向けを加えた増加額は+1,191億円(年率+2.3%)となりました。

企業規模別 貸出金残高(末残)の増減

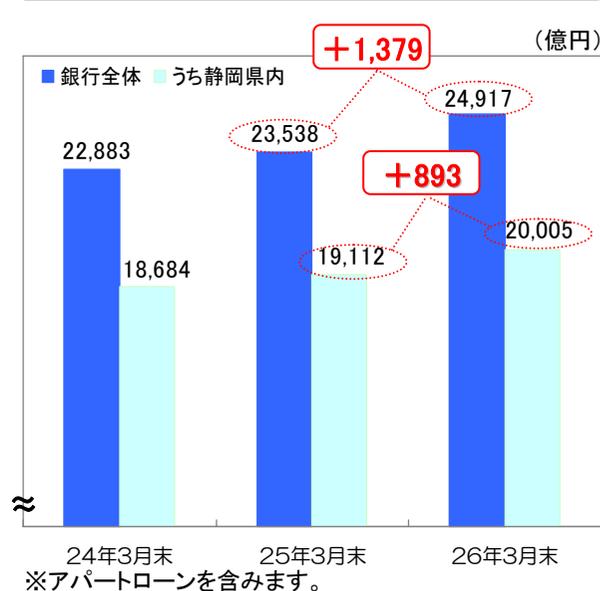
【貸出金増減額内訳(25年3月末比)】 (億円)



うち中小企業向け貸出金残高(末残)の推移



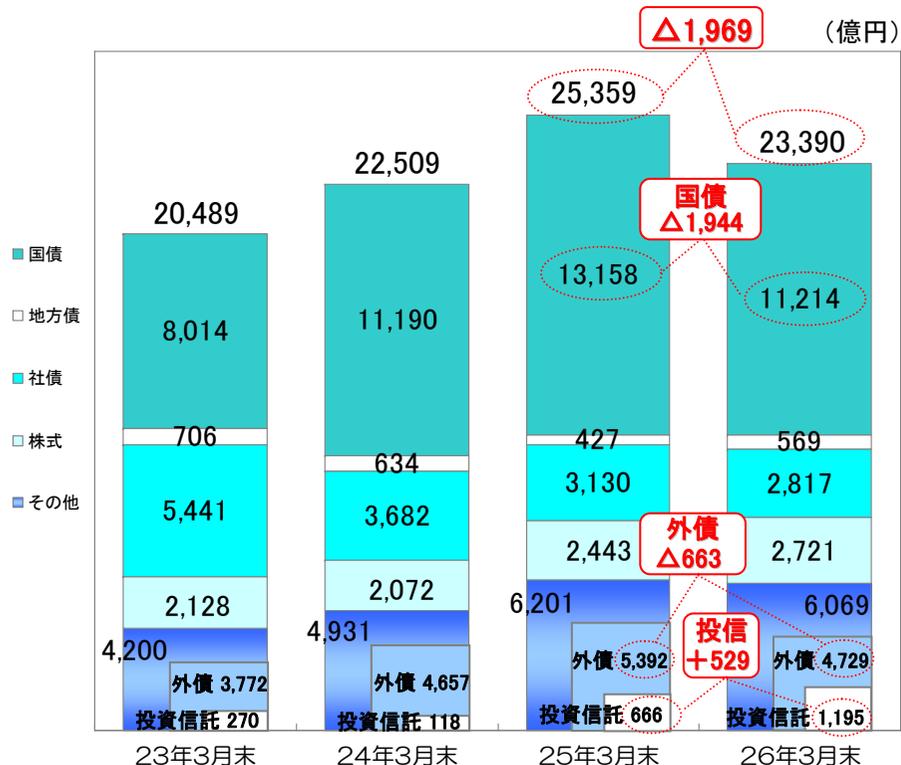
うち個人向け貸出金残高(末残)の推移



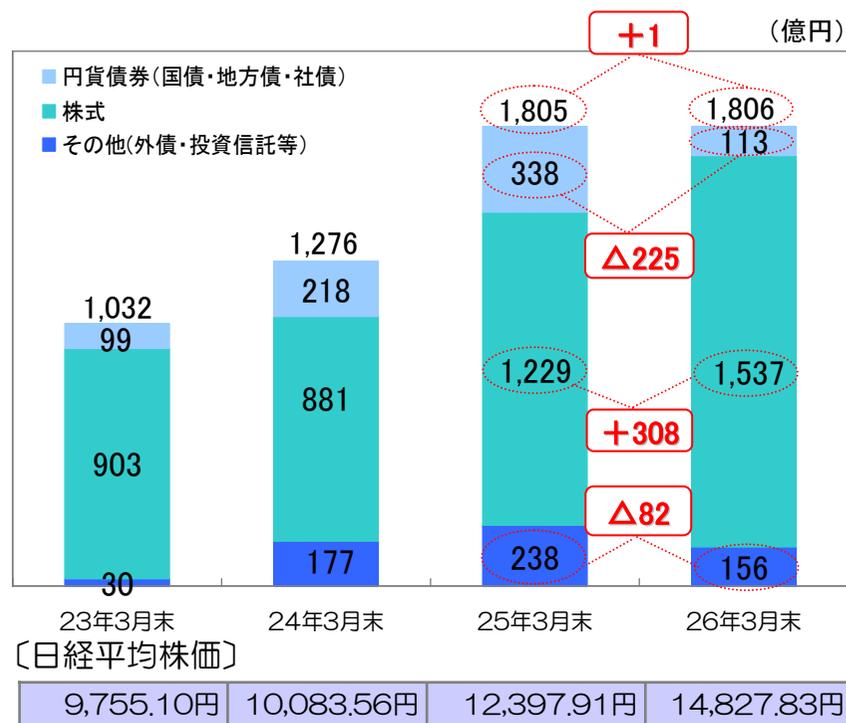
有価証券の状況

- 26年3月末の有価証券残高は、国債の減少を主因に前期末比 $\Delta 1,969$ 億円の23,390億円となりました。
- 26年3月末の有価証券評価損益は、前期末比 $+1$ 億円の1,806億円となりました。株式が $+308$ 億円の増加となる一方、円貨債券が $\Delta 225$ 億円、その他（主に外債）が $\Delta 82$ 億円減少しました。

有価証券残高の推移



有価証券評価損益の推移



有価証券平均残存期間の推移

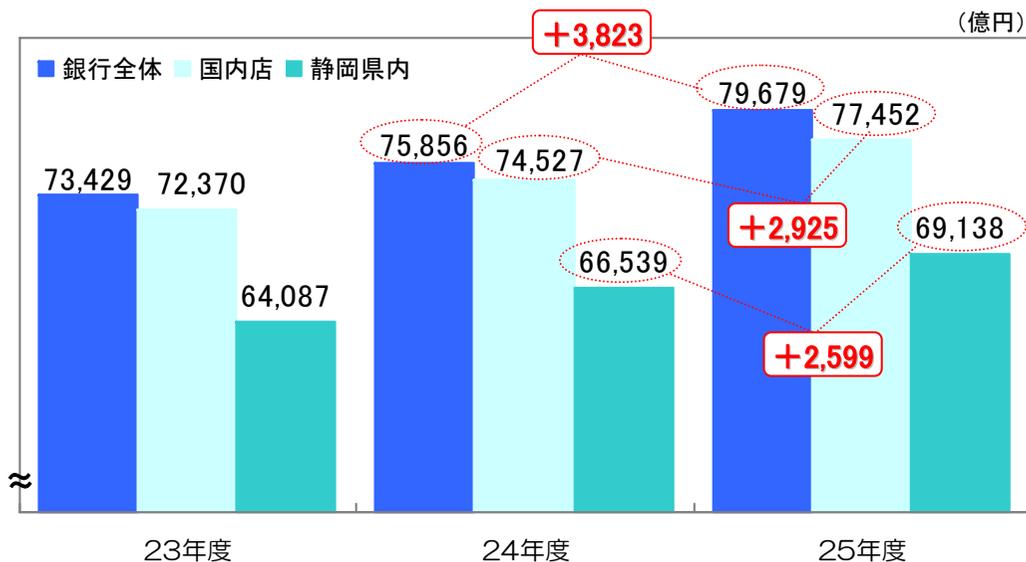
- 相場動向に応じた機動的な対応により、収益性および健全性の向上に努めています。

	23年3月末	24年3月末	25年3月末	26年3月末
円貨債券	5.03年	5.25年	5.24年	4.60年
外貨債券	2.18年	3.45年	3.97年	4.46年

※ 24年3月末より、従来のバンダーシステムに代えて行内管理システムにより算出する計数の使用を開始しましたが、影響は軽微となります。

預金の状況①

預金残高（平残）の推移



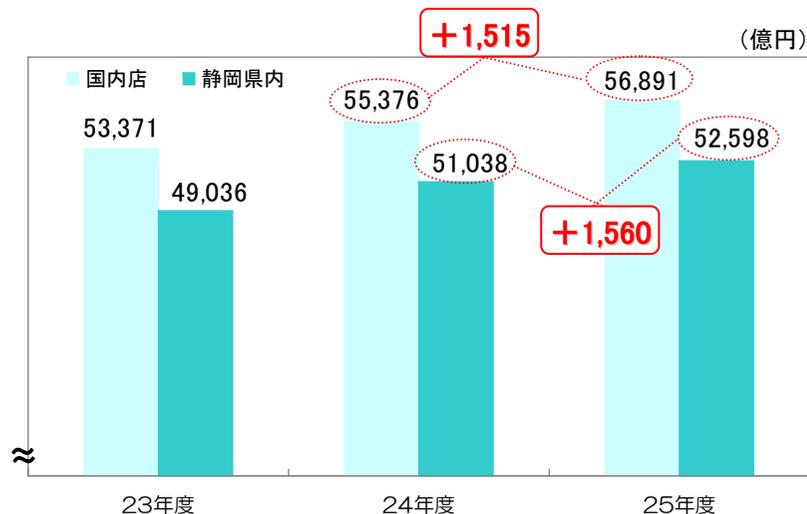
- 25年度の預金残高(平残)は79,679億円と前期比+3,823億円(年率+5.0%)の増加となりました。

預金残高(平残)増加の主な内訳は以下のとおり

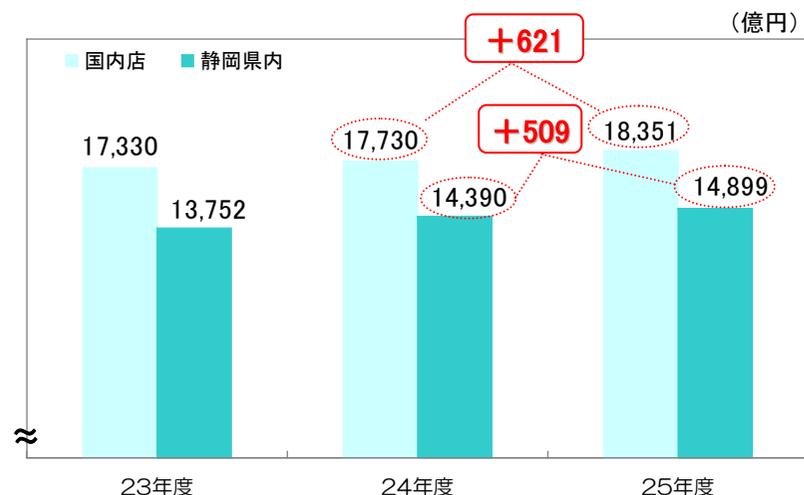
国内営業店※	+2,925億円	(年率 +3.9%)
うち静岡県内※	+2,599億円	(年率 +3.9%)
うち個人※	+1,515億円	(年率 +2.7%)
うち法人	+621億円	(年率 +3.5%)
東京オフショア	+578億円	(年率+125.1%)
海外店	+319億円	(年率+36.8%)

※インターネット支店+978億円を含みます。

うち個人預金残高(平残)の推移

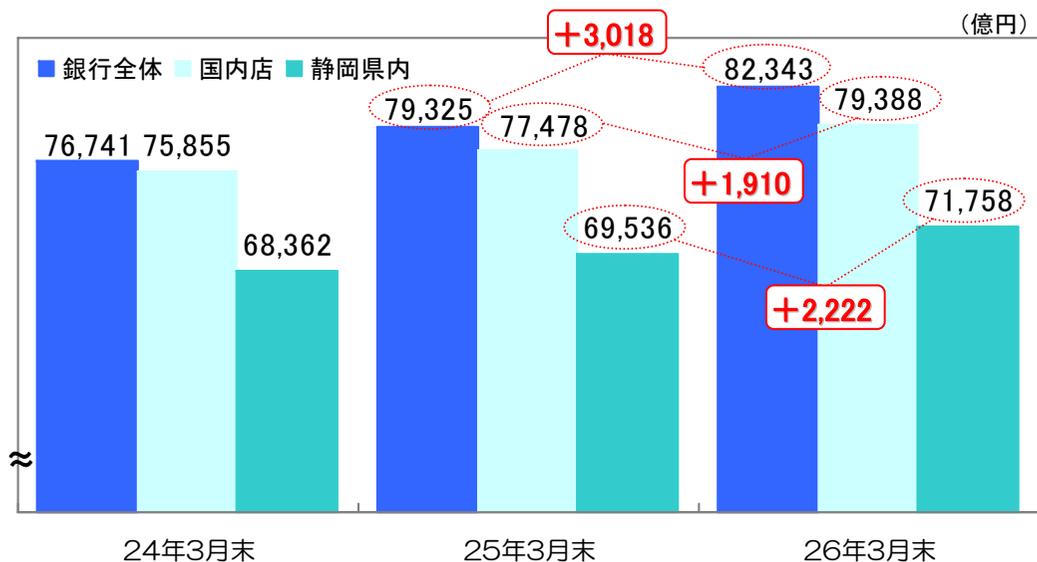


うち法人預金残高(平残)の推移



預金の状況②

預金残高（末残）の推移



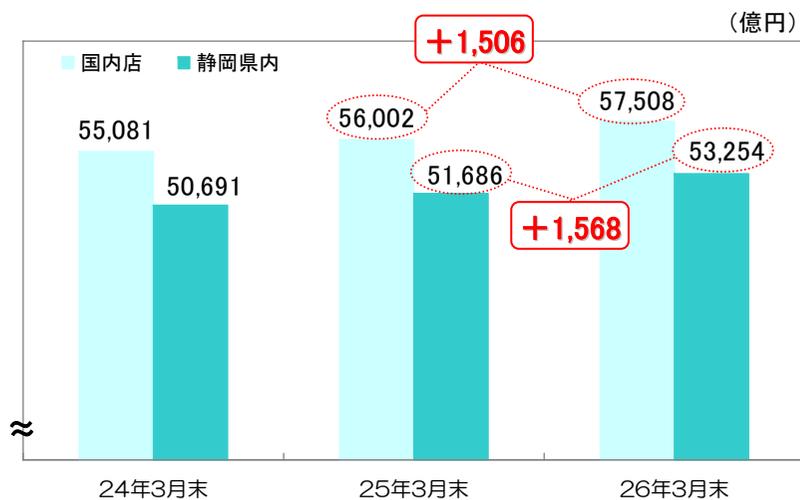
- 26年3月末の預金残高(末残)は82,343億円と前期末比+3,018億円(年率+3.8%)の増加となりました。

預金残高(末残)増加の主な内訳は以下のとおり

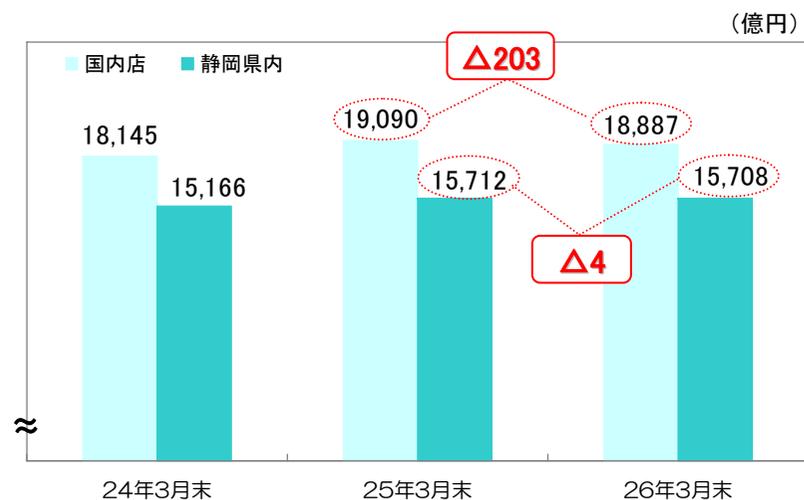
国内営業店※	+1,910億円	(年率 +2.5%)
うち静岡県内※	+2,222億円	(年率 +3.2%)
うち個人※	+1,506億円	(年率 +2.7%)
東京オフショア	+711億円	(年率 +75.2%)
海外店	+398億円	(年率 +44.2%)

※インターネット支店+871億円を含んでおります。

うち個人預金残高(末残)の推移



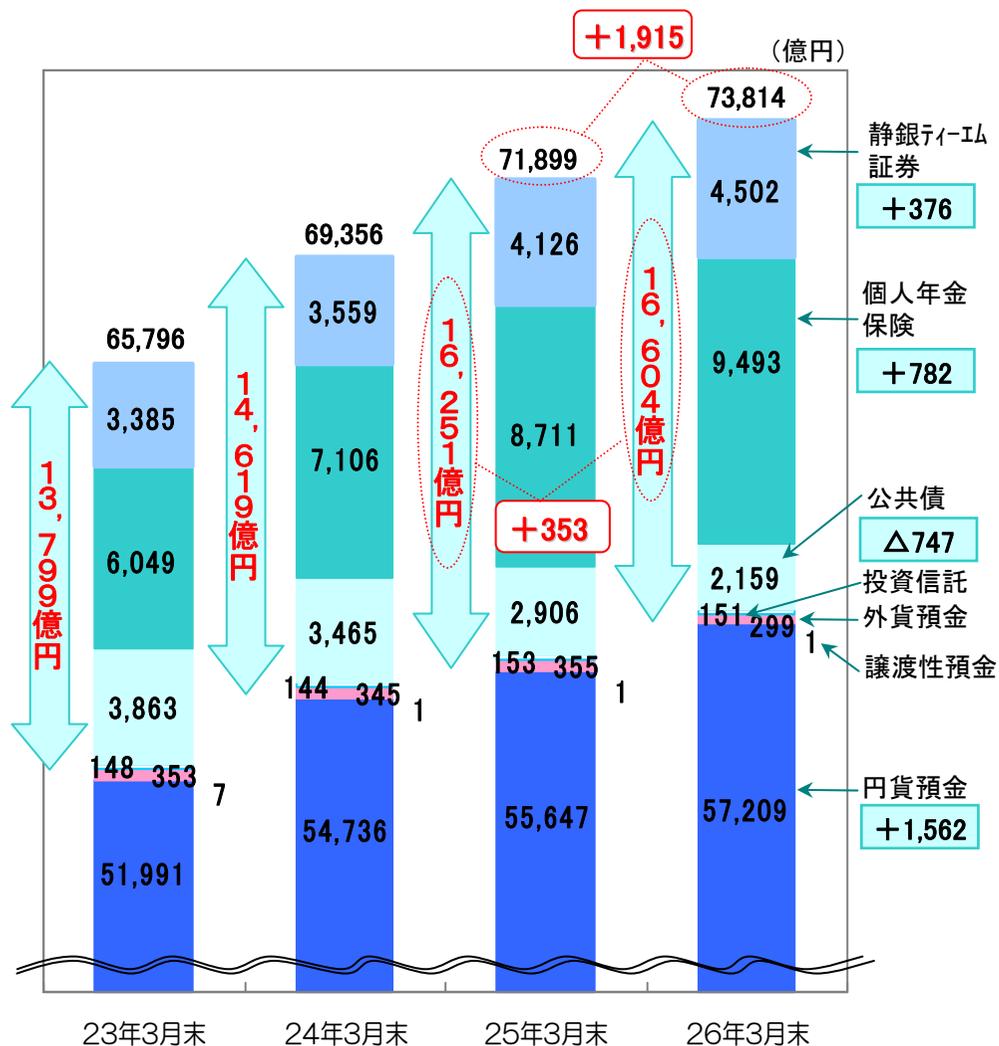
うち法人預金残高(末残)の推移



預り資産の状況

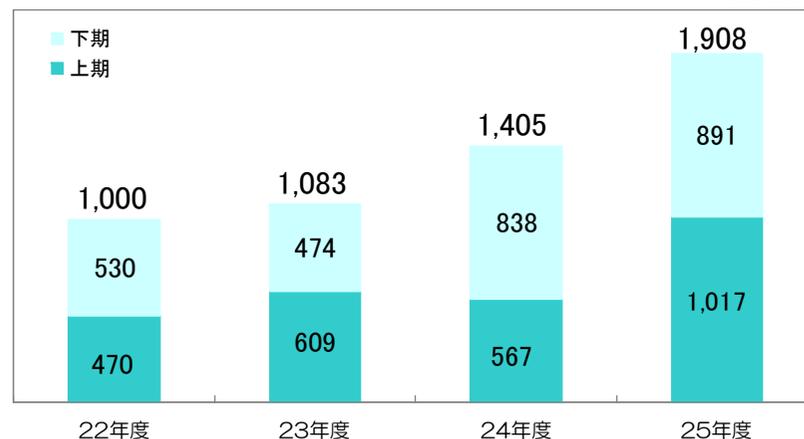
- 26年3月末の静銀ティーエム証券(株)を含む個人預り資産残高は73,814億円(前期末比+1,915億円)、また、資産運用商品(円貨預金・譲渡性預金を除く個人預り資産)残高は16,604億円(同+353億円)となりました。

個人預り資産(末残)の推移

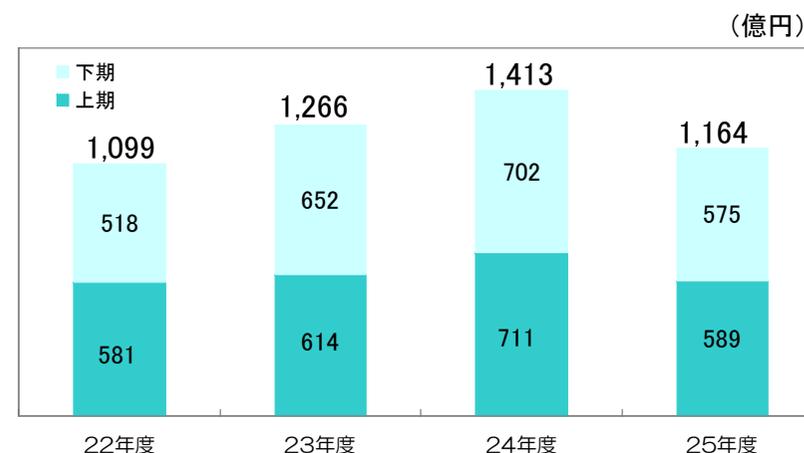


投資信託販売額の推移

- 主として静銀ティーエム証券にて販売



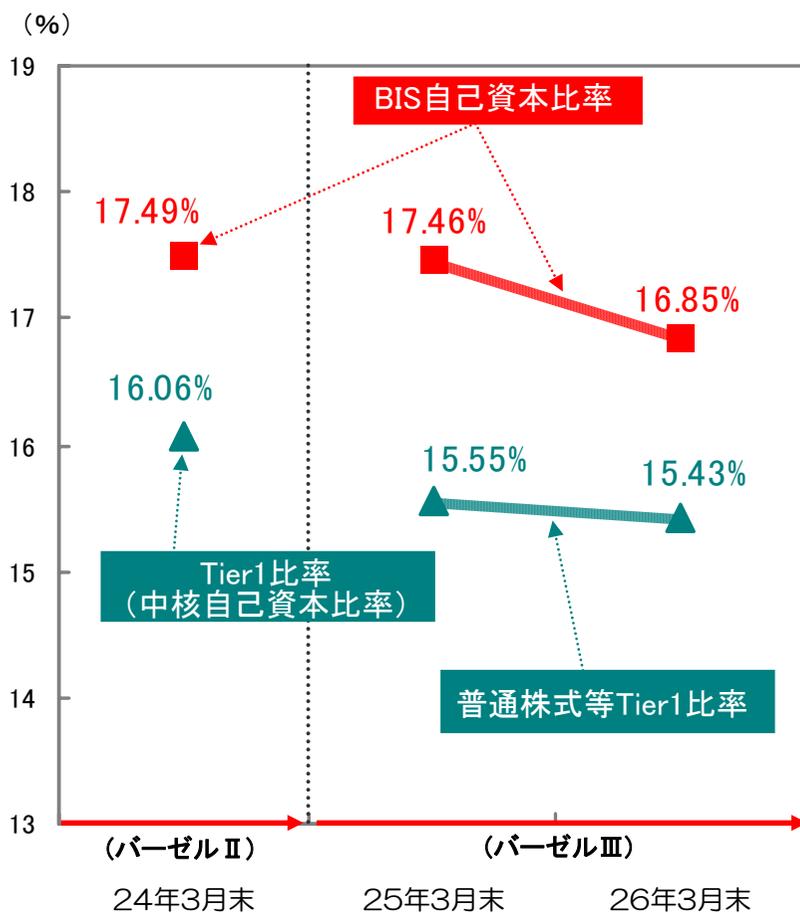
個人年金保険販売額の推移



健全性① ～自己資本比率の状況

- 静岡銀行は、国際統一基準行として、平成25年3月末よりバーゼルⅢ基準による自己資本比率を算出しています。
 - バーゼルⅢによるBIS自己資本比率（連結ベース）は、25年3月末比△0.61ポイントの16.85%となりました。また、普通株式に係る株主資本等を中心とした普通株式等Tier1比率は、△0.12ポイントの15.43%となりました。
- ※1 バーゼルⅢへの移行にともなう経過措置に基づく比率です。
 ※2 リスク・アセットの計算方法は、信用リスクについては基礎的内部格付手法、オペレーショナル・リスクについては粗利益配分手法を採用しています。

BIS自己資本比率(連結ベース)



自己資本およびリスク・アセット等の推移

	(億円)			(億円)	
【バーゼルⅢ】	26年 3月末	25年 3月末	25年 3月末比	<ご参考> 【バーゼルⅡ】	24年 3月末
自己資本(注)	7,829	7,685	144	自己資本(注)	7,199
普通株式等Tier1	7,168	6,843	325	Tier1	6,611
その他Tier1	7	—	7	Tier2	633
Tier2	654	842	△188	控除項目(△)	45
リスク・アセット	46,436	44,001	2,435	リスク・アセット	41,148
信用リスク・アセットの額	43,332	40,932	2,400	信用リスク・アセットの額	38,004
マーケット・リスク相当額に係る額	127	115	12	マーケット・リスク相当額に係る額	142
オペレーショナル・リスク相当額に係る額	2,977	2,954	23	オペレーショナル・リスク相当額に係る額	3,002

(注) 優先株式、劣後債等を含んでいません。

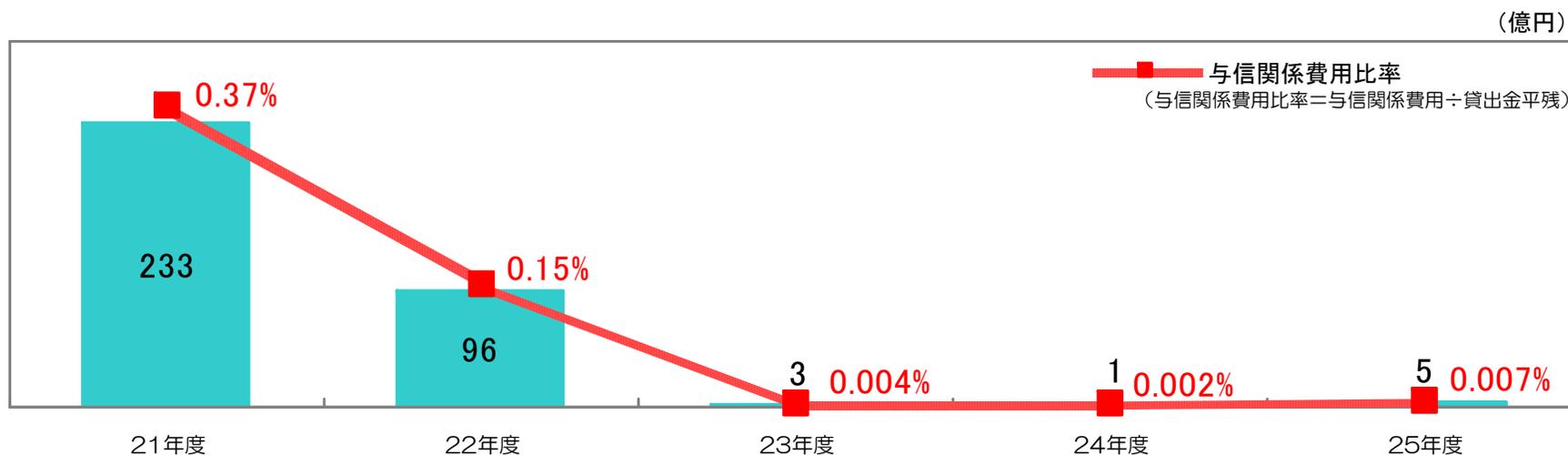
与信関係費用：25年度 5億円(前期比+4億円)

《与信関係費用の内訳》	25年度	
	25年度	前期比
不良債権処理額※1 ①	10億円	+5億円
貸倒引当金戻入益※2 ②	5億円	+1億円
一般貸倒引当金繰入額	△46億円	△0億円
個別貸倒引当金繰入額	41億円	△1億円
合計 ①-②	5億円	+4億円

- ・債務者区分の引下げ等 90億円
- ・担保評価下落 5億円
- ・格上、回収等による取崩 △54億円

※1 不良債権処理額には信用保証協会責任共有制度に関する偶発損失引当金繰入額などを含みます。
 ※2 貸倒引当金戻入益は一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額をネットینگしたものです。

与信関係費用・与信関係費用比率の推移

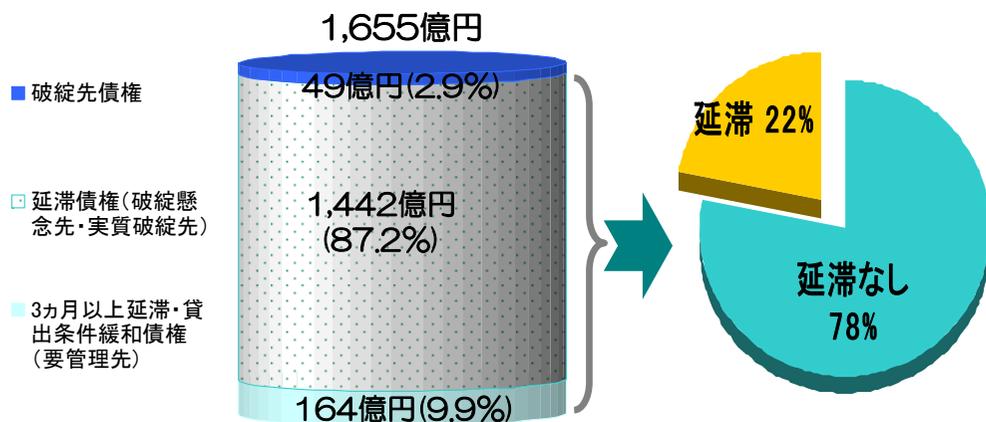


健全性③ ~不良債権の状況

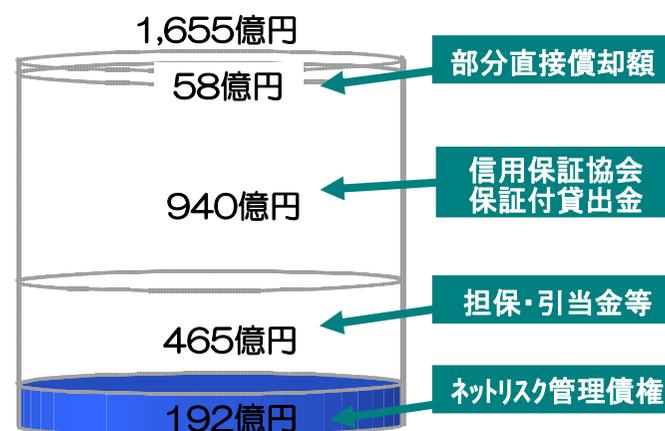
リスク管理債権の状況（単体ベース）

- リスク管理債権 1,655億円（前期末比△381億円）
 - リスク管理債権比率 2.28%（ // △0.63ポイント）
 - ネットリスク管理債権 192億円（ // △46億円）
 - ネットリスク管理債権比率 0.26%（ // △0.08ポイント）
- ※ネットリスク管理債権＝リスク管理債権－部分直接償却－信用保証協会保証付貸出金－担保・引当金等

26年3月末リスク管理債権の内訳



ネットリスク管理債権



不良債権のオフバランス化実績

	22年度	23年度	24年度	25年度
新規発生	+721	+529	+465	+335
オフバランス化 (うち破綻懸念先以下)	△591 (△551)	△669 (△607)	△714 (△669)	△716 (△632)
リスク管理債権	2,425	2,285	2,036	1,655

△381億円 (億円)

【335億円の内訳】 (億円)

要管理先	50
破綻懸念先	216
実質破綻先・破綻先	69

【632億円の内訳】 (億円)

本人弁済・預金相殺	117
担保処分・代位弁済	216
格上	231
債権売却	61
直接償却	7

地域密着型金融への取組み①

- 静岡銀行グループでは、「基本理念“地域とともに夢と豊かさを広げます。”の実践を通じて、地域との共生による持続的成長を実現する。」を基本的な方針として、地域密着型金融を推進しています。
- 特に「ビジネスマッチング」「次世代経営者塾『Shizugin:ship』の運営」および「経営改善・事業再生支援」を3つの柱として取り組んでいます。あわせて、第11次中期経営計画では、基本戦略の1つ「『先進性』『提案・解決力』を通じた成長の実現」に向け「取引先のアジア進出支援」「事業承継支援」にも積極的に取り組みました。

ビジネスマッチング

静岡銀行グループのネットワークを活用した
お客さまニーズのマッチングによる業容拡大支援

Shizugin:ship

次世代を担う静岡県内の経営者、後継者、実務担当者の皆さまに、
研鑽と交流の「場」を提供

経営改善・事業再生支援

業績低迷等により経営改善や事業再生を必要とするお客さまの
支援



お客さまとともに地域の未来を切り拓く総合金融グループ

地域密着型金融への取組み②

- ビジスマッチング、次世代経営者塾「Shizuginship」、経営改善・事業再生支援および事業承継支援の具体的な成果・実績は以下のとおりです。

ビジスマッチング

【成約件数および融資金額の推移】



主な商談会

- しずぎん@gricom (25年7月、72社出展)
- スーパーマーケット・トレードショー (26年2月、31社出展)

次世代経営者塾「Shizuginship」

- 会員数：845社／1,267名（26年3月末現在）
- 地域経済の将来を担う人材の育成支援とともに、各種イベントの開催、Webサービスによる情報提供などにより、会員の皆さまの事業発展をサポートしています。

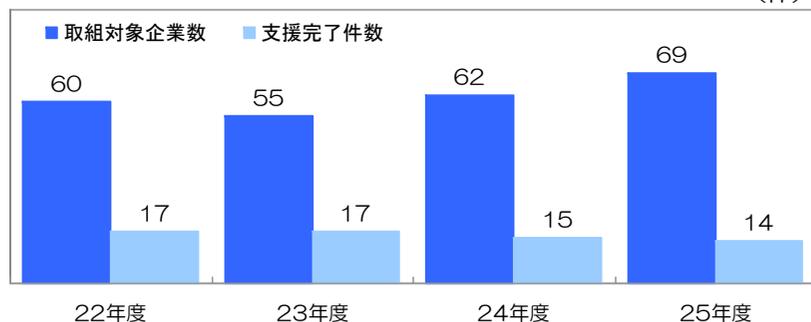
25年度の活動実績（会員参加人数のべ1,842名）

内容	開催実績
セミナー（著名な経営者や専門家による講演会）	10回
ゼミナール（テーマ別に連続開催する講座）	全17講座
・エグゼクティブプログラム	1講座
・ミドルマネジメントプログラム	7講座
・ベーシックプログラム	9講座

経営改善・事業再生支援への取組み

- 営業店・本部・グループ会社・中小企業再生支援協議会などの外部機関が連携してお客さまの経営状況に応じてきめ細かく対応し、迅速かつ円滑な事業再生支援に取り組んでいます。

【取組実績の推移】



事業承継支援への取組み

- 中堅・中小企業が直面する事業承継、事業継続問題に対し、静岡県事業引継ぎ支援センターなどの外部機関とも連携して対応しています。
- 25年度は、M&Aなどの手法を活用し、799件の事業承継支援に取り組み、株式購入資金など事業承継支援に関連した270億円の融資にも対応しました。

【25年度の主な取組実績】

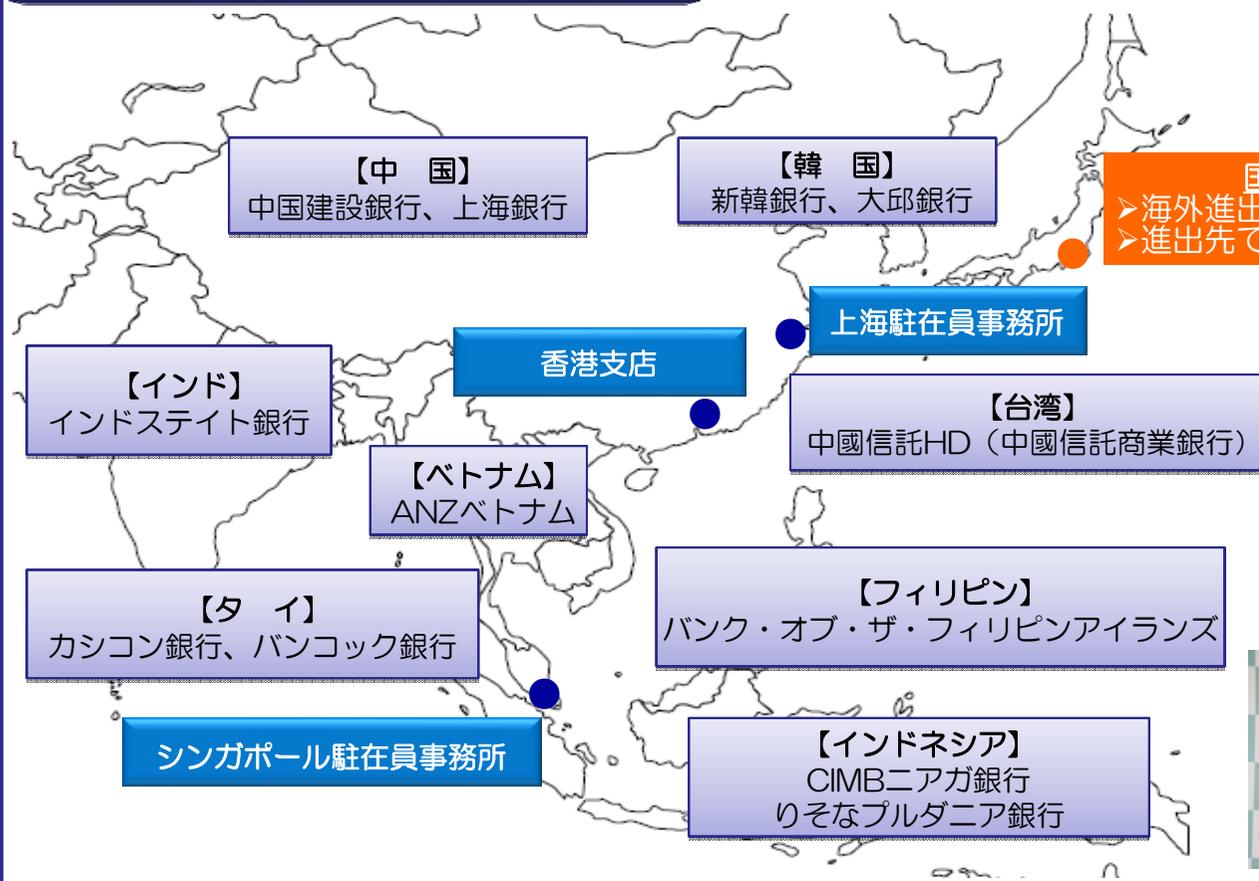
内容	実績
事業承継支援取組件数	799件
コンサルティング契約件数（※）	32件
M&A成約件数	26件
事業承継に関連する融資件数／金額	144件／270億円

※グループ会社の静銀経営コンサルティング株式会社における実績

地域密着型金融への取組み③

- 取引先のアジアを中心とする海外進出が増加する中、静岡銀行では、現地金融機関との業務提携を通じ、取引先支援体制の整備を進めています。25年度には、台湾の中国信託ホールディングと業務提携を締結し、海外進出および進出後の事業展開を支援しています。
- また、静岡銀行では、国内営業店長等の海外視察、通学制英会話スクールをはじめとする教育プログラムなど、国際分野における「人材育成」施策にも継続的に取り組んでいます。

アジアネットワーク



国際営業部
 > 海外進出支援の企画・統括
 > 進出先での取引先支援



浜松市と「海外ビジネス展開支援に関する協定書」締結(25年12月)

地域密着型金融への取組み④

- 25年度における地域密着型金融の推進に関する主要計数は、以下のとおりです。

ライフサイクルに応じた支援強化

主要計数	25年度実績	(参考) 24年度実績
①経営改善支援取組み率＝経営改善支援取組み先(※1)数／期初債務者数（正常先除く）	2.3%	1.9%
経営改善支援取組み先数（正常先除く）	329先	290先
期初債務者数（正常先、アパートローンのみ先除く）	14,468先	15,654先
②再生計画策定率＝再生計画策定先(※2)数／経営改善支援取組み先数（正常先除く）	89.1%	90.0%
再生計画策定先数（正常先除く）	293先	261先
経営改善支援取組み先数（正常先除く）	329先	290先
③ランクアップ率＝ランクアップ先(※3)数／経営改善支援取組み先数（正常先除く）	4.0%	5.2%
ランクアップ先数（正常先除く）	13先	15先
経営改善支援取組み先数（正常先除く）	329先	290先
④創業・新事業支援融資実績 〔「開業・新事業支援に関する制度融資」の期中実行件数・実行額〕	147件／1,155百万円	204件／2,113百万円

※1 経営改善支援取組み先*： 営業店による経営改善支援先(a)＋本部による事業再生集中対応先(b)＋中小企業支援協議会の再生計画策定先(メイン取引行として対応した先のみ)

※2 再生計画策定先数*： (a)のうち経営改善計画策定先＋(b)のうち再生計画策定先＋中小企業支援協議会の再生計画策定先(メイン取引行として対応した先のみ)

※3 ランクアップ先： 経営改善支援取組み先のうち、平成26年3月末の債務者区分が平成25年3月末と比較し上昇した先

*重複は除く

株主還元の様況

- 25年度の1株当たり配当額(年間)は、当期純利益(単体)を踏まえて、期末配当金を公表より50銭引き上げて8円とし、15円50銭とする予定です。また、26年度の1株当たり配当額(年間)は、期末配当(8円)を継続し、16円を予定しています。

配当額の推移

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度予想
1株当たり配当額(年間)	13.00円	13.50円	※15.00円	15.50円	16.00円(8.0円)
配当利回り(配当/期末株価)	1.88%	1.58%	1.42%	1.53%	—

※創立70周年の記念配当1円を含んでおります。

() は中間配当額

株主への利益配分の状況

(億円)

	22年度	23年度	24年度	25年度	16~25年度実績 (10年間)
年間配当額①	88	89	97	97	867(累計)
自己株式取得額②	150	146	82	227	771(累計)
株主還元額③=①+②	238	235	180	324	1,638(累計)
当期純利益④	354	347	409	428	3,365(累計)
配当性向①/④×100	24.85%	25.54%	23.78%	22.78%	25.76%(平均)
株主還元率③/④×100	67.22%	67.60%	43.93%	75.73%	48.66%(平均)

業績予想

(億円)

	25年度実績 (A)	26年度予想 (B)	前年度比
			(B)-(A)
【連結】			
連結経常収益	2,209	2,250	41
連結経常利益	747	740	△7
連結当期純利益	467	475	8

(億円)

	25年度実績 (A)	26年度予想 (B)	前年度比
			(B)-(A)
【静岡銀行単体】			
経常収益	1,861	1,900	39
業務粗利益	1,445	1,456	11
資金利益	1,262	1,199	△63
役務取引等利益	148	152	4
特定取引利益	5	14	9
その他業務利益	29	91	62
(うち国債等債券関係損益)	19	67	48
経費 (△)	797	848	51
一般貸倒引当金繰入額 (△)	—	△19	△19
業務純益	647	627	△20
臨時損益	25	13	△12
経常利益	672	640	△32
当期純利益	428	410	△18

与信関係費用 (△)	5	14	9
------------	---	----	---

決算データ編

〈貸出金の状況〉〔平残ベース〕【単体】

														(億円)		
	22年度			23年度			24年度			25年度			増減			
		上期	下期		上期	下期	A	上期B	下期C	D	上期E	下期F	D-A	E-B	F-C	
貸出金	63,256	62,678	63,836	65,177	65,008	65,346	66,694	65,599	67,795	70,115	69,095	71,139	3,421	3,496	3,344	
国内店①	62,385	61,853	62,919	64,130	64,107	64,154	65,219	64,459	65,983	68,168	67,343	68,997	2,949	2,884	3,014	
一般貸出金（企業向け貸出金）※1	39,214	38,993	39,436	39,598	39,800	39,395	40,168	39,605	40,734	41,921	41,445	42,397	1,753	1,840	1,663	
うち中小企業向け② ※1	25,798	25,636	25,961	26,362	26,210	26,515	26,780	26,726	26,835	27,262	27,026	27,498	482	300	663	
公共向け貸出金	1,550	1,458	1,643	2,133	2,087	2,178	2,035	2,002	2,068	2,239	2,225	2,254	204	223	186	
うち中小企業向け（公社等）③	175	117	234	323	316	330	298	279	318	218	252	183	△ 80	△ 27	△ 135	
個人向け貸出金④ ※2	21,621	21,402	21,840	22,400	22,220	22,580	23,016	22,852	23,181	24,008	23,673	24,346	992	821	1,165	
（消費者ローン） ※2	21,668	21,449	21,887	22,439	22,263	22,616	23,045	22,883	23,207	24,012	23,684	24,343	967	801	1,136	
海外店	871	825	917	1,047	902	1,192	1,475	1,140	1,812	1,947	1,752	2,142	472	612	330	
うち中小企業向け②+③	25,973	25,753	26,195	26,685	26,526	26,845	27,078	27,005	27,153	27,480	27,278	27,681	402	273	528	
うち中小企業等⑤=②+③+④	47,594	47,155	48,035	49,085	48,746	49,425	50,094	49,857	50,334	51,488	50,951	52,027	1,394	1,094	1,693	
中小企業等貸出金比率⑤/①	76.29%	76.23%	76.34%	76.53%	76.03%	77.04%	76.80%	77.34%	76.28%	75.53%	75.65%	75.40%	△ 1.27%	△ 1.69%	△ 0.88%	

【静岡県内の貸出金】

														(億円)		
	22年度			23年度			24年度			25年度			増減			
		上期	下期		上期	下期	A	上期B	下期C	D	上期E	下期F	D-A	E-B	F-C	
静岡県内の貸出金	42,766	42,482	43,052	44,119	44,050	44,189	44,458	44,264	44,652	45,766	45,386	46,149	1,308	1,122	1,497	
一般貸出金（企業向け貸出金）※1	23,568	23,507	23,630	23,693	23,808	23,579	23,743	23,659	23,827	24,230	24,090	24,372	487	431	545	
うち中小企業向け⑥ ※1	19,942	19,832	20,053	20,274	20,248	20,301	20,501	20,501	20,500	20,473	20,386	20,560	△ 28	△ 115	60	
公共向け貸出金	1,490	1,437	1,545	2,125	2,079	2,171	1,979	1,976	1,982	2,165	2,141	2,188	186	165	206	
うち中小企業向け（公社等）⑦	169	111	228	319	312	326	247	257	236	146	172	120	△ 101	△ 85	△ 116	
個人向け貸出金⑧ ※2	17,707	17,538	17,878	18,301	18,163	18,439	18,736	18,630	18,843	19,371	19,155	19,589	635	525	746	
（消費者ローン） ※2	17,666	17,496	17,837	18,257	18,121	18,393	18,688	18,583	18,794	19,311	19,097	19,526	623	514	732	
うち中小企業向け⑥+⑦	20,111	19,943	20,281	20,593	20,560	20,627	20,748	20,758	20,736	20,619	20,558	20,680	△ 129	△ 200	△ 56	
うち中小企業等⑥+⑦+⑧	37,818	37,481	38,159	38,894	38,723	39,066	39,484	39,388	39,579	39,990	39,713	40,269	506	325	690	

※1. 「一般貸出金（企業向け貸出金）」および「うち中小企業向け」には事業性個人貸出金を含んでおります。

※2. 「個人向け貸出金」および「消費者ローン」には、アパートローンを含んでおります。

〈貸出金の状況〉〔未残ベース〕【単体】

(億円)

	23年3月末	23年9月末	24年3月末	24年9月末	25年3月末 A	25年9月末 B	26年3月末 C	25年3月末比 C-A	25年9月末比 C-B
貸出金	66,592	66,091	66,949	67,911	69,940	71,398	72,408	2,468	1,010
国内店①	65,650	65,081	65,719	66,688	68,254	69,531	70,248	1,994	717
一般貸出金（企業向け貸出金） ※1	41,362	40,367	40,848	41,521	42,491	43,138	42,907	416	△ 231
うち中小企業向け② ※1	27,727	27,435	28,284	28,116	28,305	28,390	28,117	△ 188	△ 273
公共向け貸出金	2,092	2,176	1,988	2,030	2,225	2,276	2,424	199	148
うち中小企業向け（公社等）③	340	296	289	313	277	190	193	△ 84	3
個人向け貸出金④ ※2	22,195	22,538	22,883	23,137	23,538	24,117	24,917	1,379	800
（消費者ローン） ※2	22,240	22,571	22,917	23,165	23,555	24,118	24,901	1,346	783
海外店	942	1,010	1,230	1,223	1,685	1,867	2,159	474	292
うち中小企業向け②+③	28,067	27,731	28,573	28,429	28,582	28,580	28,310	△ 272	△ 270
うち中小企業等⑤=②+③+④	50,262	50,269	51,456	51,566	52,120	52,697	53,227	1,107	530
中小企業等貸出金比率⑤/①	76.56%	77.24%	78.29%	77.32%	76.36%	75.79%	75.77%	△ 0.59%	△ 0.02%

【静岡県内の貸出金】

(億円)

	23年3月末	23年9月末	24年3月末	24年9月末	25年3月末 A	25年9月末 B	26年3月末 C	25年3月末比 C-A	25年9月末比 C-B
静岡県内の貸出金	45,806	45,389	45,936	45,985	46,876	47,115	48,009	1,133	894
一般貸出金（企業向け貸出金） ※1	25,552	24,804	25,275	25,198	25,622	25,447	25,644	22	197
うち中小企業向け⑥ ※1	21,704	21,372	22,056	21,907	21,862	21,626	21,396	△ 466	△ 230
公共向け貸出金	2,084	2,169	1,977	1,946	2,142	2,210	2,359	217	149
うち中小企業向け（公社等）⑦	336	292	282	232	197	127	130	△ 67	3
個人向け貸出金⑧ ※2	18,170	18,415	18,684	18,841	19,112	19,459	20,005	893	546
（消費者ローン） ※2	18,129	18,365	18,638	18,793	19,057	19,395	19,935	878	540
うち中小企業向け⑥+⑦	22,040	21,664	22,338	22,139	22,059	21,753	21,526	△ 533	△ 227
うち中小企業等⑥+⑦+⑧	40,210	40,079	41,022	40,980	41,171	41,212	41,531	360	319

※1. 「一般貸出金（企業向け貸出金）」および「うち中小企業向け」には事業性個人貸出金を含んでおります。

※2. 「個人向け貸出金」および「消費者ローン」には、アパートローンを含んでおります。

<有価証券の状況> 【単体】

○有価証券ポートフォリオ

	23年3月末		24年3月末		25年3月末		26年3月末		25年3月末比	
		構成比率(%)		構成比率(%)		構成比率(%)		構成比率(%)		構成比率(%)
有価証券	20,489	100.0	22,509	100.0	25,359	100.0	23,390	100.0	△ 1,969	—
国債	8,014	39.1	11,190	49.7	13,158	51.9	11,214	47.9	△ 1,944	△ 4.0
地方債	706	3.4	634	2.8	427	1.7	569	2.4	142	0.7
社債	5,441	26.6	3,682	16.4	3,130	12.3	2,817	12.1	△ 313	△ 0.2
株式	2,128	10.4	2,072	9.2	2,443	9.6	2,721	11.6	278	2.0
その他	4,200	20.5	4,931	21.9	6,201	24.5	6,069	26.0	△ 132	1.5
(うち外貨債券)	3,772	18.4	4,657	20.7	5,392	21.3	4,729	20.2	△ 663	△ 1.1
(うち投資信託)	270	1.3	118	0.5	666	2.6	1,195	5.1	529	2.5

○有価証券評価損益

	23年3月末	24年3月末	25年3月末	26年3月末	25年3月末比
その他有価証券	1,032	1,276	1,805	1,806	1
株式	903	881	1,229	1,537	308
債券	99	218	338	113	△ 225
その他(外債、投信等)	30	177	238	156	△ 82

※「その他有価証券」とは、有価証券のうち、売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社株式および関連会社株式を除いたものをいいます。

日経平均株価	9,755.10 円	10,083.56 円	12,397.91 円	14,827.83 円	2,429.92 円
--------	------------	-------------	-------------	-------------	------------

○減損処理による影響

減損基準	損益への影響
●時価のある株式・債券 期末の時価が簿価に比べ30%以上下落したもの	—
●時価のない株式等 期末の実質価額が簿価に比べ30%以上下落したもの	0.1
合 計	0.1

<預金・預り資産の状況> 【単体】

○預金の状況（未残）

	23年3月末	23年9月末	24年3月末	24年9月末	25年3月末 A	25年9月末 B	26年3月末 C	(億円)	
								25年3月末比 C-A	25年9月末比 C-B
預金	73,530	72,909	76,741	76,983	79,325	87,337	82,343	3,018	△ 4,994
国内営業店預金	72,388	72,197	75,855	75,681	77,478	84,991	79,388	1,910	△ 5,603
うち個人預金	52,344	52,746	55,081	55,145	56,002	56,795	57,508	1,506	713
うち法人預金	17,609	17,968	18,145	19,374	19,090	19,236	18,887	△ 203	△ 349
静岡県内預金	64,562	63,966	68,362	67,392	69,536	70,186	71,758	2,222	1,572
うち個人預金	48,022	48,459	50,691	50,815	51,686	52,499	53,254	1,568	755
うち法人預金	14,500	14,194	15,166	15,589	15,712	15,488	15,708	△ 4	220
譲渡性預金	3,108	4,332	4,141	2,634	4,838	2,846	4,459	△ 379	1,613
合計	76,638	77,241	80,883	79,617	84,163	90,183	86,802	2,639	△ 3,381

○個人預り資産の状況（未残）

	23年3月末	23年9月末	24年3月末	24年9月末	25年3月末 A	25年9月末 B	26年3月末 C	(億円)	
								25年3月末比 C-A	25年9月末比 C-B
個人預り資産残高（銀行本体）	62,411	62,851	65,797	66,007	67,773	68,730	69,312	1,539	582
円貨預金	51,991	52,412	54,736	54,828	55,647	56,479	57,209	1,562	730
譲渡性預金	7	1	1	1	1	1	1	△ 0	0
外貨預金	353	334	345	317	355	316	299	△ 56	△ 17
投資信託	148	135	144	131	153	158	151	△ 2	△ 7
公共債	3,863	3,723	3,465	3,184	2,906	2,613	2,159	△ 747	△ 454
個人年金保険	6,049	6,246	7,106	7,546	8,711	9,163	9,493	782	330
静銀イー・エム証券の個人預り資産	3,385	3,251	3,559	3,468	4,126	4,226	4,502	376	276
静銀イー・エム証券を含む個人預り資産	65,796	66,102	69,356	69,475	71,899	72,956	73,814	1,915	858
うち円貨預金・譲渡性預金除き	13,799	13,689	14,619	14,646	16,251	16,476	16,604	353	128

<平成26年3月末の自己査定結果、金融再生法開示債権、リスク管理債権> 【単体】

・総与信に占める金融再生法開示基準による不良債権の割合2.25% (部分直接償却を実施した場合の総与信に占める割合2.17%)
 ・貸出金に占めるリスク管理債権の割合2.28% (部分直接償却を実施した場合の貸出金に占める割合2.20%)

(億円)

自己査定における 債務者区分	自己査定分類区分 (対象：貸出金等与信関連債権)				担保・保証等 による保全額	引当額	保全率	金融再生法に基づく開示債権 対象：要管理債権は貸出金のみ (その他は貸出金等与信関連債権) うち私募債		リスク管理債権 対象：貸出金
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	
破綻先 52 <31>	42 <21>	10	- (4)	- (21)	141	82	100.0%	破産更生債権及び これらに準ずる債権 224 <165>		破綻先債権 49 <31>
実質破綻先 171 <134>	127 <90>	44	- (20)	- (37)						-
破綻懸念先 1,273 <1,270>	986 <983>	164	123 (110)		1,040	110	90.3%	危険債権 1,273 <1,270>		1,442 <1,402>
要 注 意 先	要管理先 192	7	185		要管理先の保全額 103	13	60.4%	要管理債権 (貸出金のみ) 164		3カ月以上延滞債権 9
					要管理先のうち要管理 債権に対する保全額 82	11	57.0%			貸出条件緩和債権 155
	要管理先 以外の要 注意先				要管理先のうち要管理 債権以外の保全額 21	2	80.0%	正常債権 72,028		合計 1,655 <1,597>
9,629	9,437	4,131	5,306	要管理先以外の要 注意先保全額	6,344	183	69.2%			
正常先 62,374	62,374					163		188		
合計 73,500 <73,438>	非分類合計 67,667 <67,606>	Ⅱ分類合計 5,709	Ⅲ分類合計 123 (133)	Ⅳ分類合計 - (59)		合計 551		合計 73,688 <73,626>		188

- ※1. 貸出金等与信関連債権：貸出金、支払承諾見返、外国為替、未収利息、貸出金に準ずる仮払金、クレジットカード未収金
- 2. 自己査定分類区分における () 内は分類額に対する引当額です。破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当しております。
- 3. 当行は部分直接償却は実施していませんが、実施した場合の与信残高を < > 内に記載しております。部分直接償却 62億円
- 4. 要注意先については、当該先の与信残高から保証協会保証・預金担保等 (優良担保・優良保証) を控除した額をすべてⅡ分類としております。
- 5. 正常先については、国・地公体向けの非区分債権が含まれております。
- 6. 金融再生法開示債権には、時価評価をした銀行保証付私募債が含まれております。

<債務者区分の遷移状況(残高ベース)> 【単体】

【25年3月～26年3月】

(億円)

		当初残高 A	26年3月末						デフォルト額	デフォルト率	個別貸倒引	繰入率	
			正常先	要注意先	要管理先	破綻懸念先	実質破綻先	破綻先	その他	B+C+D E	E/A	当金繰入額 F	F/A
25 年 3 月 末	正常先	58,925	54,121	1,481	14	15	10	3	3,279	28	0.04%	8	0.01%
	要注意先	9,926	1,236	8,112	23	177	27	19	332	223	2.24%	40	0.40%
	要管理先	219	15	27	145	1	5	1	25	7	3.19%	1	0.45%
	破綻懸念先	1,505	10	195	14	1,093	58	23	111				
	実質破綻先	283	2	16	1	38	103	11	112				
	破綻先	66	-	1	0	9	0	13	42				

【24年3月～25年3月】

(億円)

		当初残高 A	25年3月末						デフォルト額	デフォルト率	個別貸倒引	繰入率	
			正常先	要注意先	要管理先	破綻懸念先	実質破綻先	破綻先	その他	B+C+D E	E/A	当金繰入額 F	F/A
24 年 3 月 末	正常先	54,889	50,602	1,328	25	28	16	16	2,873	61	0.11%	24	0.04%
	要注意先	10,710	1,235	8,864	38	233	38	40	262	311	2.90%	47	0.43%
	要管理先	211	11	19	155	13	1	-	11	15	7.10%	2	0.94%
	破綻懸念先	1,603	5	186	7	1,262	57	10	76				
	実質破綻先	415	2	11	1	47	219	11	123				
	破綻先	90	2	0	-	3	-	14	71				

- ※ 1. 計上基準：与信残高は24年3月末、25年3月末の残高を使用し、25年3月末、26年3月末までの間の与信額の増減は考慮していません。
2. その他については25年3月末および26年3月末時点で取引解消、オフバランス化しているものを計上しています。